
六人と未知

水時計

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

六人と未知

【Nコード】

N1745Y

【作者名】

水時計

【あらすじ】

その日、六人の男女がそれぞれの目的を胸に八木峰町にたどり着いた。野心や憎悪、愛情を掲げる彼らは果たして目的を達成できるのか！？

そして交錯する彼らがそれぞれ追う柳嶋敦とは何者なのか！？

1. 尾上道夫（前書き）

とりあえず投稿。いまだに結末は考えていないので内容もタイトルもこれからがらりと変わるかもしれないかもしれません。まったりと確実に書いていきたいものです。

1. 尾上道夫

恐ろしい出来事とは何だろう。

死去か、超科学的なことか、それとも誰かを失うことか。本当のところはどれもこれもどうでもいいことなのだ。

我々、ひいては生物全てが恐れているのは自身の一切体験したことの無い、いわば完全な未知そのものではないのか。

———柳嶋敦＞未知は未来かく

狭い町だな。尾上道夫が八木峰町に抱いた感想はただそれだけだった。もともと生家のあった場所とはいえども、二十年たてばずいぶんと変わるものだ。見る影もなくなれば大した感想も湧かない。思わず彼は空を見上げた。思い出に残る、かつての八木峰町の姿を探しての行動だったが無駄な行動に他ならなかった。

「あーあ、無駄足だったかなあ」

投げやりに呟き、首を元の角度に戻す。どんなに見上げてても視界に入る高層ビルが鬱陶しかった。かといって角度を戻したところでどうにかなるものでもない。

早くも尾上の心中には後悔が渦巻き始めていた。そうすると一気に手に持ったメモが恨めしく思えてくる。

「もとはと言えばこれのせいで、なあ」

メモには几帳面そうな字が列をなし、八木峰町の住所を示していた。尾上の字ではない。しかし彼はその字に見覚えはあった。

「柳嶋先生……」

筆跡の主たる恩師を小声で呼んでみたが、当然恩師が出てくることはなかった。

なぜ今になって恩師たる柳嶋敦が尾上に接触を図ってきたのかは彼には分からない。ただ一昨日、尾上の住む家にこのメモが投函されていた。

「どうすれば――」

「お困りかい、兄ちゃん。金くれるなら解決してやらんこともないぜ」

いつの間にかすぐ隣まで薄汚いホームレスが近づいてきていた。地面から生えてきたかのように突然の出来事だった。

「うわあっ!!」

「なんだい。そんなに驚くことねえじゃないの」

「あんたこそ、何だ！いきなり話しかけてくるんじゃない!!」

「俺は普通のホームレスさ。兄ちゃんみたいな困ってる奴から駄賃を徴収して日々生きてるのさ」

「だからと言ってだな……」

「じゃあ別にかまわんぜ？兄ちゃんが困るだけだから」

にやにや笑いをホームレスは崩さないまま言いきった。はっきりとした物言いに尾上はつい頭に血が上る。

「信用できない奴に金を渡す馬鹿がいるか!!」

尾上はとにかく大声で喚き散らした。あたりの通行人が不審そうに彼に視線を向ける。彼が怒鳴り終え、我に返ったときには既にホームレスの姿はどこにもなかった。煙のような消え方だった。

通行人の不審そうな視線の理由を悟った尾上は吐き捨てるように言った。

「全く……。先生といいさっきの奴といい、ここは変人の集まる場所なのか？」

それでも虫の居所がおさまらない彼はもう一度、空を見上げてみた。相変わらず、高層ビルに侵食された狭い空は曇ったままだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1745y/>

六人と未知

2011年11月3日11時31分発行